

第309回教育研究評議会議事要録

1. 日時 平成30年10月16日(火) 13:30~15:05
2. 場所 事務局棟 第2会議室
3. 出席者 中井学長、中田理事・副学長、三浦理事・副学長、伊藤理事・副学長
若井理事・事務局長、塩谷副学長、塘副学長
朝賀人間発達文化学類長、谷評議員
鈴木行政政策学類長、田村評議員、垣見評議員
佐野経済経営学類長、吉川評議員、貴田岡評議員
二見共生システム理工学類長、佐藤評議員、山口評議員
生源寺食農学類準備室長
初澤うつくしまふくしま未来支援センター長
塚田環境放射能研究所長
【オブザーバー】上井監事、橋本監事

4. 欠席者 中村評議員

5. 議事

【確認事項】

中井学長から、「福島大学における平成30年度中の組織再編等に係る経過措置に関する申合せ」第4条に基づき、今回の教育研究評議会より、生源寺食農学類準備室長を正式な評議員とする旨、報告があった。

第308回教育研究評議会議事要録を原案のとおり確認した。

【報告事項】

(1) 教育研究費の不正防止計画実施状況の確認について

中田理事・副学長から、資料1に基づき、次年度より本学の教育研究費の不正防止計画に基づく実施状況を確認するため、今年度については、各部局から実施状況の確認方法等に関する意見を提出していただきたいとの報告があり、実施状況確認の目的、実施状況報告書の記載内容等について説明があった。

引き続き、第308回教育研究評議会(9月18日開催)において報告した「教育研究費の使用に関するコンプライアンス教育等実施計画」について、すでに対応済みである附属学校園教員に関する記載事項が資料に反映されていなかったため、今回訂正して報告するとの説明があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(2) 排水廃液等管理改善WG 報告及び化学物質等関連規程の改廃について

中田理事・副学長から、平成 29 年度内部監査で指摘のあった排水廃液等の管理に関する諸問題に対応するため、関係各課によるワーキンググループ(以下、「WG」という。)を立ち上げ、関係する学内教員の参画も得て検討を重ねた結果等について、WG 座長である若井理事・事務局長より説明すると発言があった。

若井理事・事務局長から、資料 2 に基づき、WG 報告として、近年の法令等に十分に対応するため、現行規程の改正ではなく、化学物質全体に係る管理規程等の制定及び現行規程の廃止をすること、併せて、制定規程及び化学物質管理の手引き等の主な内容、部局長等の責務等について説明があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(3) 教育改革の進捗について

三浦理事・副学長から、資料 3 に基づき、全学 F D 研究会開催の目的、具体的な実施内容及び留意事項等について報告があり、教育改革に関連する事項の現時点における検討状況として、機関別認証評価(第 3 期)のポイント、成績評価に関するガイドライン(案)の内容、シラバス様式の主な変更点、「スタートアップセミナー」と「問題探究セミナー」の概要及び運用方法について説明があった。

質疑応答の中で、G P A 制度の運用方法、問題探究レポートの公開方法等について意見が出され、三浦理事・副学長から、各学類からの意見等を参考に今後も具体的に検討を進めていきたいとの発言があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。

(4) 2021 年度福島大学入学者選抜(2020 年度実施)の見直しに関する予告について

【第 1 報】

塩谷副学長から、資料 4 に基づき、第 308 回教育研究評議会(9 月 18 日開催)で承認された「平成 33 年度入試改革に向けた取り組みについて」を踏まえ、2021 年度入学者選抜の見直しに関する 2 年前予告の「第 1 報」として、入試区分(名称) 入学定員及び募集人員を変更すること、大学入学共通テストを利用し、英語「資格・検定試験」を加点材料として活用すること、学力の 3 要素を多面的・総合的に評価するため、一般選抜においても主体性等を評価すること、今後の予定等について、9 月 27 日に公表した旨、報告があった。

各学類教員会議へ、教職員専用総合案内掲載資料参照の上、報告することとした。